

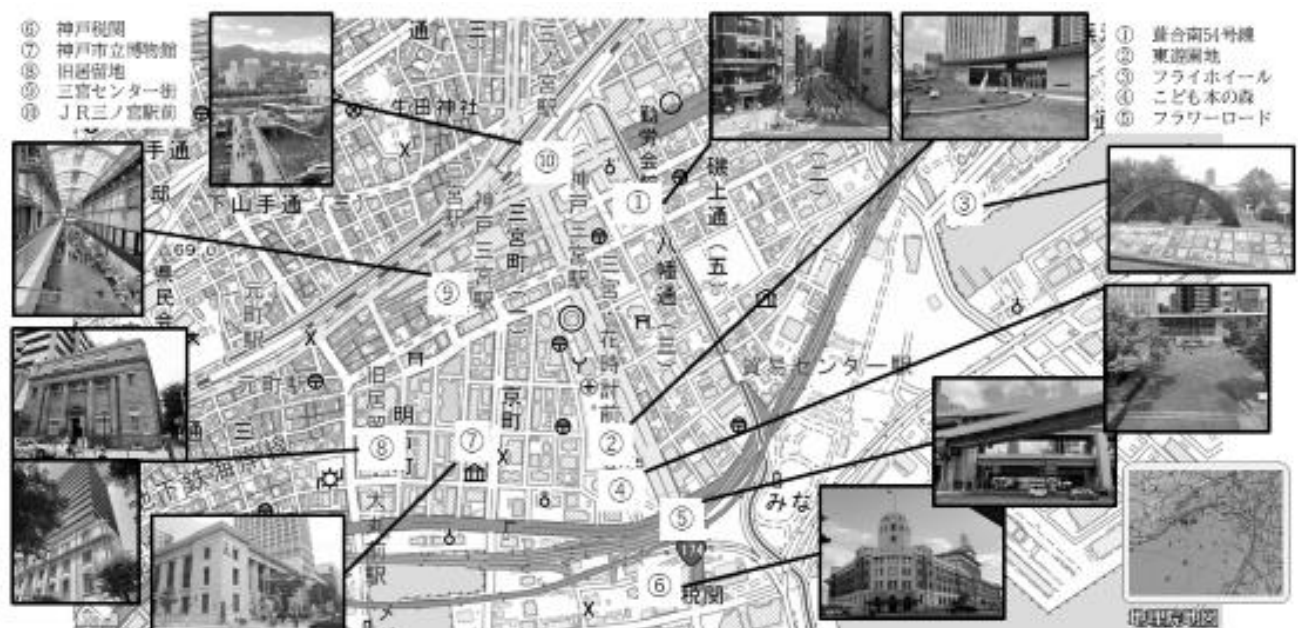
# 読む・見る・歩く 神戸 ～三宮界隈～

神戸の街、と聞いて、みなさんは何を思い浮かべますか？ 外から見た神戸のイメージは、港、異国情緒、お洒落なファッション、などだそうです\*1。海港都市・神戸は、海と陸をめぐる、古くからの多様な歴史と文化に彩られており、その積み重ねが神戸の現在につながっています。みなさんにとって、神戸らしい場所やモノって、なんですか？

ここでは、神戸を代表する三宮周辺の景観をとりあげ、学生の視点で紹介をします\*2。神戸らしい要素が現在、どのように表されているのか。街の何が変えられ、何が残され・活かされているのか。

みなさんが日々、通い暮らしている神戸の街に改めて興味を持ち、町なかへ足を向けるきっかけとなれば幸いです。

- 1) 「神戸のイメージ調査結果について」2003年、神戸市による調査（神戸市 HP「観光に関する統計・調査」より、<http://www.city.kobe.lg.jp/information/data/statistics/sightseeing/data/index.html>）
- 2) 授業「景観文化財学」の一環として2022年度前期、実際に現地を見て調査し、景観写真を撮影して解説を付しました。至らない点もあるかも知れませんが、学びの一環としてご理解いただきたく存じます。履修者：馬場、椎木、浅野、藤吉、羽根、工藤、野々村、向井、前田、森並、後藤（順不同、敬称略）。
- 3) 人文科学図書館では、10～11月に、「神戸」に関するテーマ図書を紹介しています。あわせてご利用ください。



## 2022年10月 図書テーマ展示 「読む・見る・歩く 神戸」

### A：人文科学図書館（展示している図書）

著者名	発行年	タイトル	出版社	所蔵	請求記号
神戸外国人居留地研究会編	1999	居留地の窓から —世界・アジアの中の近代神戸—	ジュンク堂書店	人文科学図書館	216-4-KYO

神戸外国人居留地研究会はこれまで、近代神戸の歴史や文化を調べ、検討を重ねてきました。はじめて活動成果をまとめた本。

神戸外国人居留地研究会編	2005	神戸と居留地—多文化共生都市の原像	神戸新聞総合出版センター	人文科学図書館	216-4-KOB
--------------	------	-------------------	--------------	---------	-----------

神戸外国人居留地の歴史を紐解き、文化や人びとの様子を明らかに。多文化が集約された近代都市の姿を復元しています。

神戸市教育委員会	2008	神戸モダニズム探訪—近代文化遺産	神戸市体育協会	人文科学図書館	523-164-KOB
----------	------	------------------	---------	---------	-------------

神戸に残る洋風建築物など、モダニズムの時代を彩った近代の文化遺産を簡潔に紹介しています。

竹沢泰子, 樋口大祐, 兵庫県国際交流協会編	2020	百花繚乱：ひょうごの多文化共生 150年のあゆみ	兵庫県国際交流協会	人文科学図書館	334-41-HYA
---------------------------	------	-----------------------------	-----------	---------	------------

長年にわたって外国の人たちが訪れ、住まい、交流してきた兵庫。多文化共生のあゆみを辿ります。

神戸市立博物館編	2017	開国への潮流：開港前夜の兵庫と神戸	開国への潮流実行委員会	人文科学図書館	216-4-KOB
----------	------	-------------------	-------------	---------	-----------

神戸は、どのように開港したのか。幕末・明治の開国の経緯を、神戸の目線から描きだします。

大国正美	2013	古地図で見る神戸：昔の風景と地名 散歩	神戸新聞総合出版センター	人文科学図書館	216-4-OKU
------	------	------------------------	--------------	---------	-----------

古地図をもとに、江戸時代から明治初期にいたる神戸の懐かしい風景を復元し、近代以前の神戸の姿をたどります。

デビッド W. エジントン	2014	よみがえる神戸：危機と復興契機の地理的不均衡	海青社	人文科学図書館	369-31-EDG
---------------	------	------------------------	-----	---------	------------

1995年の阪神・淡路大震災から、神戸はどのように復興してきたのか。海外の研究者が地理的視点で分析した、災害復興の研究です。

### B：神戸を読み・歩く図書（学内他図書館所蔵、取り寄せできます。）

阪神沿線の文化110年実行委員会編	2015	阪神沿線まちと文化の110年	神戸新聞総合出版センター	国際文化学図書館	216-4-H
-------------------	------	----------------	--------------	----------	---------

阪神線は神戸市などの海岸沿いを走り、まちと文化の推移を見つめてきました。110年の歩みを歴史、美術の諸資料からたどります。

坂江涉編著	2011	神戸・阪神間の古代史	神戸新聞総合出版センター	人間科学図書館	216.4-48
-------	------	------------	--------------	---------	----------

古代の阪神地域はどんな姿だったのか？ 近年の研究成果も踏まえ、神戸の古代史像を紹介します。

神戸外国人居留地研究会編	2011	居留地の街から：近代神戸の歴史探 究	神戸新聞総合出版センター	国際文化学図書館	216-4-K
--------------	------	-----------------------	--------------	----------	---------

海港都市、神戸の歴史を語る上で外せない、外国人居留地の設置。居留地の知られざる歴史の一端を紹介しています。

土居晴夫	2007	神戸居留地史話：神戸開港140周年記念	リーブル出版	国際文化学図書館	216-4-D
------	------	---------------------	--------	----------	---------

居留地に残るさまざまなエピソードを紹介し、近代神戸の歴史を見つめます。

藤村郁雄文；松尾稔写真	2011	近代建築さんぽ：阪神間モダニズム	神戸新聞総合出版センター	自然科学系図書館	521-6-84
-------------	------	------------------	--------------	----------	----------

阪神地域に残された、近代建築を訪ね歩いて見ませんか？ 写真と平易な文で紹介する、モダニズム建築の数々。

神戸外国人居留地研究会編	2017	開港と近代化する神戸	神戸新聞総合出版センター	海事科学図書館	216.4-69
--------------	------	------------	--------------	---------	----------

国際貿易港として発展してきた神戸を知るためのトピックを紹介。居留地、異人館、神戸阿利禰園、金子直吉など。

田井玲子	2013	外国人居留地と神戸 ：神戸開港150年によせて	神戸新聞総合出版センター	国際文化学図書館	216-4-T
------	------	----------------------------	--------------	----------	---------

神戸市立博物館で長く働いた著者が、外国人居留地の歴史、外国人たちの娯楽、文化、貿易や産業にいたるまでを細かく紹介します。

主催：人文科学図書館